



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月9日

上場会社名 株式会社 井筒屋
 コード番号 8260 URL <http://www.izutsuya.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 影山 英雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 白石 亮
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福

TEL 093-522-3414

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	62,974	△0.5	1,718	△15.0	1,452	△10.1	1,070	72.7
24年2月期第3四半期	63,302	△3.0	2,022	4.3	1,615	11.2	619	△55.0

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 1,070百万円 (71.7%) 24年2月期第3四半期 623百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	9.33	—
24年2月期第3四半期	5.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第3四半期	71,017	9,147	12.9	79.78
24年2月期	69,350	8,077	11.6	70.45

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 9,147百万円 24年2月期 8,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	—	—	0.00	0.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	△1.4	2,700	△22.3	2,300	△19.6	1,900	△0.3	16.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	114,804,953 株	24年2月期	114,804,953 株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	154,245 株	24年2月期	151,994 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	114,652,310 株	24年2月期3Q	114,654,528 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、平成24年10月4日の決算発表時の業績予想から修正しております。詳しくは本日発表の「平成25年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年3月1日～平成24年11月30日)におけるわが国経済は、一部に復興需要を背景とした景気回復の兆しがみられましたものの、海外経済の減速は強まっており、輸出や生産が大幅に減少するなど、全体として厳しい状況が続きました。今後の見通しにつきましても、中国経済の行方、米国の財政運営、欧州債務危機等、海外情勢の不確実性が引き続き懸念され、景気回復には厳しい状況が続くものと予想されます。

百貨店業界におきましても、本格的な売上回復には至らぬ商況で推移いたしておりましたものの、11月は気温が低めに推移したことで衣料品が好調な動きを見せ、売上高の下げ止まり傾向がみられました。

こうした状況の下、当社グループの主要な事業であります百貨店業におきましては、「お客様第一主義」を基本として、ライフスタイルや商環境の変化への対応力強化に努めてまいりました。

また、本年が最終年度であります「井筒屋グループ中期3カ年経営計画」も、着実に計画を上回る実績で推移いたしております。

具体的な施策といたしましては、本店にて、11月に化粧品ゾーンに新ブランドのロクシタンを導入し、自然派化粧品の品揃え強化をはかるなど、お客様のご要望にお応えする取り組みを行っております。

コレットにおきましても、9月にメンズ・レディースの複合セレクトショップ「アバハウスラストワード ガーデン」を九州初導入するなど、新規顧客の獲得と集客力の向上に努めております。

サテライトショップにおきましては、10月にJR小倉駅内に展開いたしております小倉駅店をリニューアルオープンいたしました。また同月、小倉南区に新規オープンした商業施設内に守恒ショップを出店するなど、お客様の利便性向上と顧客の拡大・深耕に努めております。

こうした施策を講じてまいりました結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は62,974百万円(前年同期比99.5%)、営業利益は1,718百万円(前年同期比85.0%)、経常利益は1,452百万円(前年同期比89.9%)となり、1,070百万円の四半期純利益(前年同期比172.7%)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,666百万円増加し、71,017百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加によるものであります。負債については前連結会計年度末に比べて596百万円増加し、61,870百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて1,070百万円増加し、9,147百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月4日に公表しました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては本日公表の「平成25年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(注) 上記の業績予想は、この資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行なわれる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,811	6,101
受取手形及び売掛金	1,940	3,038
有価証券	14	55
商品	3,759	4,523
貯蔵品	24	24
その他	692	770
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	12,242	14,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,181	13,937
土地	24,321	24,274
その他（純額）	444	389
有形固定資産合計	38,948	38,601
無形固定資産		
投資その他の資産	489	391
長期貸付金	11,339	11,161
その他	6,477	6,516
貸倒引当金	△148	△166
投資その他の資産合計	17,669	17,511
固定資産合計	57,108	56,504
資産合計	69,350	71,017

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,285	8,595
短期借入金	2,113	966
未払法人税等	46	45
前受金	6,760	7,350
その他の引当金	240	443
資産除去債務	—	4
その他	4,871	5,308
流動負債合計	21,317	22,715
固定負債		
長期借入金	32,463	32,233
再評価に係る繰延税金負債	3,737	3,737
退職給付引当金	1,229	1,229
商品券回収損失引当金	742	756
その他の引当金	164	33
資産除去債務	406	408
負ののれん	380	231
その他	830	524
固定負債合計	39,955	39,154
負債合計	61,273	61,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,532	10,532
資本剰余金	11,904	11,904
利益剰余金	△20,367	△19,297
自己株式	△21	△21
株主資本合計	2,047	3,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	28
土地再評価差額金	6,001	6,001
その他の包括利益累計額合計	6,029	6,029
純資産合計	8,077	9,147
負債純資産合計	69,350	71,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	63,302	62,974
売上原価	47,296	47,180
売上総利益	16,005	15,793
販売費及び一般管理費	13,983	14,075
営業利益	2,022	1,718
営業外収益		
受取利息	188	184
持分法による投資利益	15	72
協賛金収入	50	34
負ののれん償却額	148	148
未回収商品券受入益	180	181
受取賃貸料	259	255
その他	124	119
営業外収益合計	967	996
営業外費用		
支払利息	633	577
売上割引	291	294
商品券回収損失引当金繰入額	132	133
その他	316	257
営業外費用合計	1,373	1,262
経常利益	1,615	1,452
特別利益		
固定資産売却益	—	1
貸倒引当金戻入益	1	—
PCB廃棄物処理費用引当金戻入益	2	—
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産売却損	—	86
固定資産除却損	154	264
減損損失	490	—
投資有価証券評価損	—	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	406	—
特別損失合計	1,051	355
税金等調整前四半期純利益	568	1,098
法人税、住民税及び事業税	17	28
法人税等調整額	△68	△0
法人税等合計	△50	28
少数株主損益調整前四半期純利益	619	1,070
四半期純利益	619	1,070

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	619	1,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△4
その他の包括利益合計	3	0
四半期包括利益	623	1,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	623	1,070
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
当第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
該当事項はありません。